

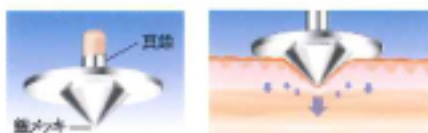
アステオで使用できる多彩なモード



SSP療法

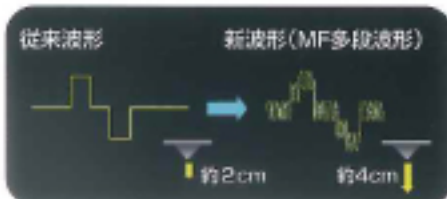
SSP電極のカタチ

先端部が皮膚に密着する際に圧力が集中し、皮膚の角質層は薄く引き伸ばされ、先端部の電気的抵抗は低くなります。その結果、先端部に電流が集中するため、治療点への高密度な通電が可能となります。



MF多段波形

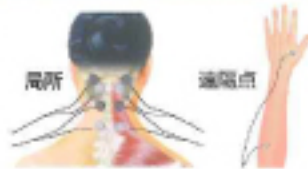
SSP治療モードに新波形「MF多段波形」を採用。新波形は従来波形に100,000Hzの中周波を重ねさせることにより20%の電流量アップ、また、到達深度は約2倍にアップしました。



新波形は従来波形より20%の電流量アップ、また、到達深度は約2倍にアップしました。

デュアル通電

鎮痛の即効性と持続性を同時に作用させるためにチャンネル毎に高周波刺激、低周波刺激の設定が可能です。治療ポイントは高周波刺激は局所(痛みのある箇所)、低周波刺激は遠隔点(合谷、手三里など)に置きます。



FP治療モード

Pulse Stimulation (パルス波刺激療法)

パルス幅150 μ sの双方向性対称波を用いて神経刺激による鎮痛効果が得られます。

MF(中周波電気刺激療法)

2,500Hz~16,000Hzの中周波を用いて、100%-50%-バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去等を効果的に行います。



MC/MCC治療モード



MC治療モード

早期からの治療促進に

生体内に微弱な電流を通電させ、組織損傷の治療促進や、細胞レベルでの代謝の活性化を促します。神経や筋を興奮させないため、運動後の筋肉痛の軽減や炎症の抑制などに期待できます。



MCC治療モード

全身コンディショニングに

MCC療法とは、全身調整微弱療法のことです。上下肢の4点から微弱電流を流すことでホメオスタシス(生体恒常性)を調整し、全身の細胞の活性化を促す新しい療法です。通常の電気刺激療法の後療法として活用していただくことにより一層の効果が期待できます。



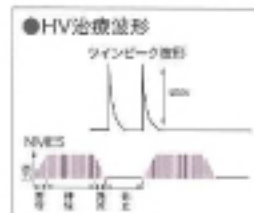
※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。



HV治療モード

高電圧で筋の再教育などに

最大500Vの高電圧の電気刺激をツインピーク波形で断片的に加える高電圧電気刺激療法は、皮膚インピーダンスの影響を受けにくく、電気刺激を深部組織まで到達させることができます。そのため、疼痛の軽減や血流量の増大、皮膚潰瘍の治療促進などに利用されます。NMESモードの設定もできます。



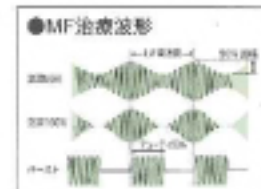
※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。



MF治療モード

最大16,000Hzの中周波のちから

2,500Hz~16,000Hzの中周波を用いて、100%-50%-バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去などを効果的に行う中周波電気刺激療法です。治療器本体内で変調波に合成し干渉波と似た刺激電流を得られ、2つの電極だけで治療ができ、肩や肘などの部位でも楽に導子が装着できます。NMESモードの設定もできます。



※アステオH/Fタイプのみ使用可。導子セットはオプション。